



文部科学省  
平成26年度大学教育再生加速プログラム採択事業

平成26年度 大学教育再生加速プログラム テーマⅢ(入試改革) 採択事業

# 2017年度 アサーティブプログラム・アサーティブ入試 補助事業報告書



想像もしなかった自分史がはじまる  
おうてもん

追手門学院大学

副学長あいさつ

# 継続は力なり

2017年度は、大学教育再生加速プログラム（AP）の中間評価が行われました。その結果、本学のアサーティブプログラム・アサーティブ入試の取組はS評価とされました。S評価とは「計画を越えた取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を十分に達成することが期待できる」ということです。この中間評価には、優れている点として以下4点のコメントが付されていました。

- ・「アサーティブ入試の志願者が順調に増えていること、アサーティブプログラムの受講者が相当の割合になってきたことなど、大学改革の成果が上がっていることは評価できる。」
- ・「高等学校や教育委員会との定期的な意見交換、確実な学力把握措置、入学前教育と初年次教育の改革など、取り組みが着実に進捗していることは評価できる。」
- ・「学長を中心とした実施体制が構築されており、また、アサーティブ課とアサーティブ研究センターの発足、評価体制の確立等の取組が着実に結果に結びついている。アサーティブプログラムの実施やMANABOSSシステムのソフトウェアとコンテンツの開発により、新しいタイプの入学選抜と教育システムが大学の特徴としてアピールでき、多くの大学のモデルになり得るのではないかと、という期待ができ、評価できる。」
- ・「本プログラムに関する大学の取組が着実に広報され、成果に結びついていることは評価できる。」

以上のように大変ありがたい評価をいただきましたが、あくまでも中間評価の結果です。AP事業の最終評価でも期待を裏切らない結果を出せるようにしたいと考えております。そして、AP補助事業が終了してもさらに発展させてまいります。

2017年度末には、本学アサーティブ研究センターとベネッセ教育総合研究所との2年間の共同研究の成果と

して、『学びと成長の可視化からその先へ ―アサーティブプログラム・アサーティブ入試の実証的研究で見えてきたこと―』という冊子を発刊しました。その内容は、アサーティブの取組は、当初の狙い通りとなっていることと同時に教育改革への課題も明らかになり、今後の具体策も含めて解明しています。

ベネッセ総合研究所の谷山和成所長、木村治生副所長・高等教育研究室長、佐藤昭宏・岡田沙織高等教育研究室研究員、ベネッセiキャリアの方々には、本研究の推進に極めて大きな貢献をしていただきました。深く感謝申し上げますと存じます。

なお、ご関心のある方は、この冊子の残部が多少ございますので本学アサーティブ課までお申し出ください。

さて、2017年度のアサーティブプログラムでの総面談者数は978名（前年比107.9%）、志願者数は383名（前年比97.0%）、入学者数は196名（前年比103.2%で入学者総数の10.6%）、アサーティブプログラムを受講して他の入試形態で入学した者とアサーティブ入試で入学した者を合わせると376名（前年比102.2%で入学者総数の20.2%）となりました。志願者数は若干減少しましたが、A日程入試では増加しB日程で減少したものです。B日程で減少したのは、A・B日程の間にある他の入試に出願・合格した者が例年より少し多かったためです。

滋賀県教育委員会との連携協定に基づく取組も着実に進んでいます。アサーティブ講演・キャリア教育講演や保護者向け講演、本学教員による出前授業、該当高校との新たな高大接続に関する協議など、地道な活動を展開しました。これらの活動では、本学への志願者誘導を行わず、あくまでも新たな高大接続の在り方を追求することを目的にしています。にもかかわらず、滋賀県からの全入試の志願者数は、前年度比156%になりました。高校の先生方や生徒たちとの信頼関係が少しずつ広がっているものと考えています。

沖縄県でのアサーティブ講演の取組も飛躍的に拡大しました。2016年度は2校でしたが、2017年度は7校で行い、今後も拡大する勢いになっています。また、沖縄県の高校

## 目次

副学長あいさつ	01
---------	----

アサーティブプログラム・ アサーティブ入試の概要	03
-----------------------------	----

### 統計・資料編

(1)アサーティブガイダンス日程・ アサーティブプログラム受講者数	05
(2)MANABOSS(マナボス)登録・ 利用者数および利用状況	07
(3)MANABOSS(マナボス)問題数	08
(4)アサーティブ入試日程・募集人員	09
(5)アサーティブプログラム・アサーティブ入試について	10
(6)アサーティブ入試について	11
(7)アサーティブプログラム受講者 入試種別 志願・合格・入学者数	12
(8)入学前学習	13
(9)個別面談職員・研修日程	14
(10)研修内容・事例紹介	15
(11)報道関係・講演依頼・来訪調査	16
(12)入学者インタビュー調査	17
(13)アサーティブイベント「はじめての大学」開催報告	19
(14)アサーティブスタッフの活動報告	20
(15)アサーティブ課インターンシップ体験記	23
(16)平成30年度 大学教育再生加速プログラム 事業計画	25

生の進学に関するイベントにも、アサーティブスタッフの学生がボランティアで協力するなどの活動も行いました。沖縄県からの志願者数は、前年度の2倍を超え、ここ数年では最も多くなりました。入学者数も3年ぶりに複数となり、3名が入学しました。アサーティブの取組をさらに発展させるために、ICTを活用した新たなシステムの開発も検討することにしています。

アサーティブスタッフの学生たちも30名ほどになり、活動の幅も広がってきました。前年度は名桜大学の学生との交流の機会を設けましたが、2017年度は、筑紫女学園大学、西南女学院大学、九州工業大学の学生たちとの交流が実現しました。他大学の学生たちと交流することによって、新しい気づきや発見もあり、彼らの成長の契機になっています。

以上のように、本取組は多くの方々のご協力を得て確実な成果が得られています。その中で課題も明らかになってきましたので、次年度以降に向けて、それらの解決も含めて一層の前進を図っていきたくて考えておりますので、引き続きのご指導ご鞭撻をお願いいたします。



追手門学院大学 副学長  
福島 一政

# アサーティブプログラム・アサーティブ入試の概要

高校生に大学で学ぶ目的を考えさせ、大学で学ぶ姿勢と意欲を持つことができるように育てるアサーティブプログラムと、そのことを検証するアサーティブ入試を開発した。アサーティブプログラムの特徴は、①本学職員と高校生が個別面談をし、将来の自分を意識させ、大学で何を学ぶかを問い、大学で学ぶ意味を自ら気づくように促す。②本学が独自に開発したMANABOSS（マナボス）システムで基礎学力の確認と向上、計画的学習を習慣づける。同時にこのシステム上で議論するバカロレアバトルで、物事を多様な観点から考察する能力を育成し、自分の意見を述べる力や他者の意見を受け入れる姿勢を養うことができるようにする。③個別面談で話した内容や、自分の気持ち・考えをアサーティブノートに記録し、繰り返し振り返ることで自己成長を促す。アサーティブ入試はその成果を発揮する場であり、意欲・能力・適性に加え、基礎学力の達成度を含めた多面的・総合的な評価が可能となる。

## アサーティブ入試の求める受験生像

1. 追手門学院大学で学びたいという気持ちを描き、その思いを伝えられる人
2. 今は確かな希望や理念がなくとも、知的な事柄への興味や活動を通じ、何のために学ぶのかを問い続け、努力する人
3. 高校までの基礎的な知識や技能の習得を見直し、向上しようと努力する人

## コンセプト

### 「選抜型」入試から「育成型」入試への転換

大学で学ぶ目的を考え、学ぶ意欲と姿勢を持った受験生に入学を許可することを目的とし、受験前から「学ぶことについて考える」及び「アイデンティティの形成」の機会となるアサーティブプログラムとその成果を発揮できるアサーティブ入試。

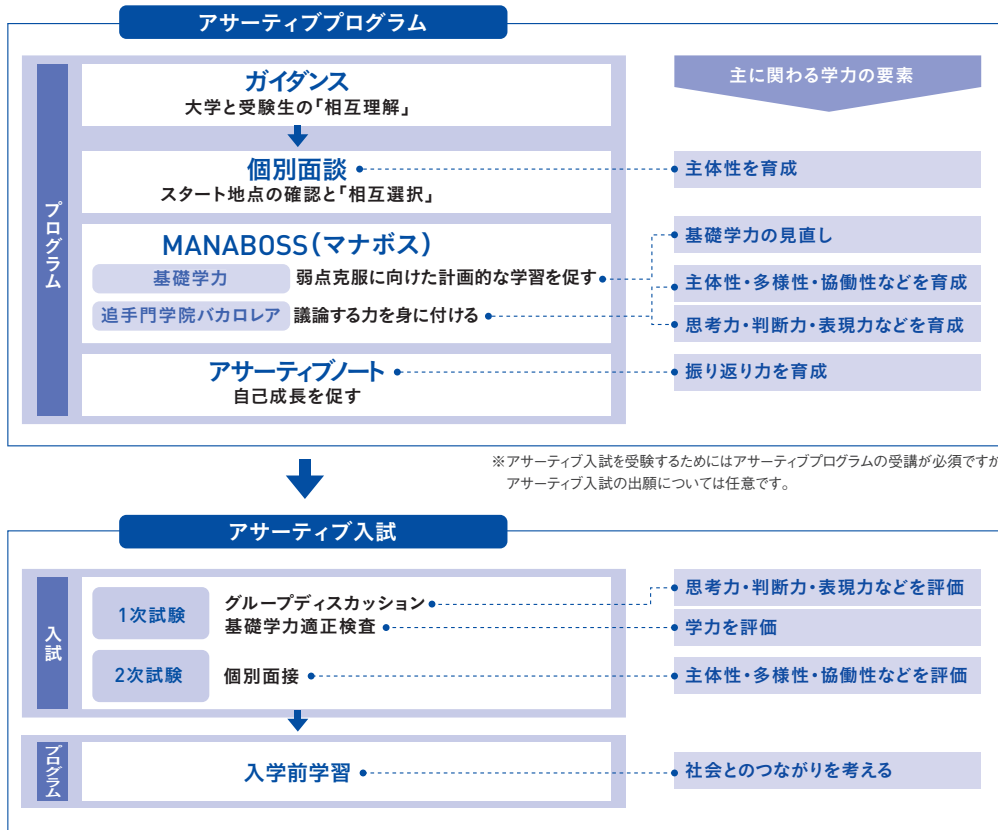
## 入学前学習

高校生活の充実と、大学で学ぶことを考え続けるプログラム（P13を参照）

## 事業による効果（期待する入学者像）

- シラバスの活用ができる
- 講義への参加意欲の向上
- 各種活動への積極的参加  
などができる新入生の増加

## アサーティブプログラム・アサーティブ入試の流れ



## アサーティブプログラムの特徴

### 1 本学職員との「個別面談」

将来の自分を意識させ、大学で何を学ぶかを問い、大学で学ぶ意味を自ら気付くように促し、学ぶ意欲を引き出すことができるようにする。

### 2 独自開発システム「MANABOSS(マナボス)」

#### 【MANABOSS導入の目的】

- ① 基礎学力の確認と弱点の発見から計画的な学習への動機づけができる。
- ② 論理的思考や批判的思考を始めとして、物事を多様な観点から考察する能力を育成する。
- ③ ポートフォリオで成長の記録を振り返ることができ、入学後の学生ポートフォリオにつなげることができる。



#### 基礎学力適正検査

高等学校段階の学力を客観的に把握・活用ができるように「言語能力問題」と「非言語能力問題」を準備。「達成度」から自らの基礎学力の状態を把握し、計画的に学ぶ姿勢を養うことができる。

#### 追手門学院バカロレア

大学において、「答えが1つではない問題」を発見し、解決するために必要な専門的知識と汎用的能力を鍛えるための準備として、与えられた課題に対してじっくり考えることを養い、SNS上で議論を展開することができる。

### 3 自己成長を促す「アサーティブノート」

自らのことを理解し、大きな視野で周りの状況を見極め、自分で考えたことを、相手にしっかりと伝える準備ができるノートである。このことにより、アイデンティティの形成と自己成長を促すことになる。

# アサーティブガイダンス日程・アサーティブプログラム受講者数

## ◆2014年度(2015年度入試対象)

(単位:名)

日程	イベント・場所	ガイダンス	個別面談	男	女	リピーター	個別面談実人数
5月25日	オープンキャンパス	46	22	10	12	0	22
6月 8日	梅田サテライト	3	3	2	1	0	3
6月17日	梅田サテライト	2	2	1	1	0	2
6月22日	オープンキャンパス	64	41	17	24	3	38
6月29日	個別対応(広島)	3	3	3	0	1	2
7月13日	オープンキャンパス	48	34	14	20	6	28
7月20日	梅田サテライト	5	5	3	2	0	5
7月27日	梅田サテライト	6	6	2	4	0	6
8月 2日	オープンキャンパス	37	30	19	11	6	24
8月 3日	オープンキャンパス	30	27	16	11	7	20
8月 9日	梅田サテライト	7	7	7	0	0	7
8月21日	個別対応(本学)	1	1	1	0	0	1
8月24日	オープンキャンパス	25	23	12	11	6	17
8月25日	個別対応(本学)	2	2	2	0	0	2
9月14日	オープンキャンパス	15	9	8	1	2	7
9月15日	梅田サテライト	1	1	1	0	0	1
9月20日	梅田サテライト	1	1	1	0	0	1
9月21日	梅田サテライト	4	4	3	1	0	4
合計		300	221	122	99	31	190

※リピーター実人数25名

## ◆2015年度(2016年度入試対象)

(単位:名)

日程	イベント・場所	ガイダンス	個別面談	男	女	リピーター	個別面談実人数
2月22日	梅田サテライト	6	6	4	2	1*	6*
3月15日	梅田サテライト	9	9	5	4	0	9
3月28日	梅田サテライト	11	9	5	4	0	9
3月29日	梅田サテライト	7	4	1	3	1*	4*
3月31日	個別対応(本学)	1	1	0	1	0	1
4月26日	梅田サテライト	5	5	2	3	0	5
5月10日	梅田サテライト	3	3	2	1	1	2
5月24日	梅田サテライト	12	12	9	3	2	10
6月 7日	梅田サテライト	11	11	5	6	0	11
6月 9日	個別対応(高知)	1	1	0	1	0	1
6月21日	オープンキャンパス	124	102	54	48	11	91
7月 5日	梅田サテライト	9	9	8	1	2	7
7月19日	梅田サテライト	17	16	10	6	4	12
7月20日	個別対応(福岡)	1	1	0	1	0	1
7月21日	個別対応(大分・本学)	2	2	1	1	0	2
7月26日	オープンキャンパス	131	116	79	37	24	92
8月 2日	梅田サテライト	16	16	14	2	3	13
8月 4日	個別対応(本学)	1	1	1	0	0	1
8月 7日	オープンキャンパス	104	87	67	20	14	73
8月 8日	オープンキャンパス	85	77	55	22	20	57
8月23日	オープンキャンパス	103	86	63	23	26	60
8月24日	個別対応(本学)	1	1	0	1	0	1
8月26日	個別対応(本学)	1	1	0	1	0	1
9月 9日	個別対応(岡山)	1	1	1	0	0	1
9月13日	オープンキャンパス	50	52	39	13	14	38
9月27日	梅田サテライト	21	21	16	5	10	11
10月11日	梅田サテライト	12	12	9	3	2	10
10月25日	入試直前相談会	28	44	32	12	20	24
11月 2日	個別対応(本学)	2	2	2	0	0	2
11月 3日	個別対応(本学)	1	1	1	0	0	1
11月 4日	個別対応(本学)	1	1	1	0	0	1
合計		777	710	486	224	153	557

※リピーター実人数113名  
※個別面談実人数のうち昨年度参加者2名



## ◆2016年度(2017年度入試対象)

(単位:名)

日程	イベント・場所	ガイダンス	個別面談	男	女	リピーター	個別面談実人数
12月23日	個別対応(本学)	1	1	1	0	1*	1*
2月28日	梅田サテライト	12	12	7	5	0	12
3月 6日	梅田サテライト	10	10	6	4	2*	10*
3月20日	梅田サテライト	15	15	6	9	0	15
3月28日	個別対応(本学)	0	1	1	0	1	0
5月 8日	梅田サテライト	27	25	19	6	4*	23*
5月22日	アサーティブイベント	41	30	17	13	8*	23*
6月 5日	梅田サテライト	11	10	8	2	1	9
6月19日	オープンキャンパス	168	138	87	51	9	129
7月 3日	梅田サテライト	19	23	12	11	0	23
7月14日	個別対応(本学)	1	1	1	0	0	1
7月17日	梅田サテライト	9	13	11	2	2	11
7月24日	オープンキャンパス	170	161	121	40	33*	129*
7月31日	梅田サテライト	24	23	16	7	2	21
8月 2日	大阪高校	18	18	13	5	3	15
8月 5日	オープンキャンパス	84	81	53	28	17	64
8月 6日	オープンキャンパス	78	75	50	25	10*	66*
8月21日	梅田サテライト	27	33	23	10	6	27
8月23日	個別対応(本学)	1	1	1	0	0	1
8月28日	オープンキャンパス	80	88	50	38	28	60
9月18日	オープンキャンパス	64	71	64	7	20	51
10月 2日	梅田サテライト	13	15	9	6	3	12
10月16日	入試直前相談会	44	46	30	16	8	38
10月30日	梅田サテライト	15	15	10	5	5	10
合計		932	906	616	290	155	751

※リピーター実人数121名  
 ※個別面談実人数うち昨年度参加者8名

## ◆2017年度(2018年度入試対象)

(単位:名)

日程	イベント・場所	ガイダンス	個別面談	男	女	リピーター	個別面談実人数
2月26日	梅田サテライト	12	12	6	6	0	12 <sup>*1</sup>
3月 5日	梅田サテライト	13	13	5	8	0	13 <sup>*2</sup>
3月26日	梅田サテライト	28	27	14	13	1	26 <sup>*2</sup>
5月14日	梅田サテライト	17	17	10	7	2	15
5月28日	アサーティブイベント&オープンキャンパス	136	110	64	46	10	100 <sup>*3</sup>
6月 4日	梅田サテライト	14	12	4	8	4	8
6月18日	オープンキャンパス	123	124	90	34	19	105 <sup>*1</sup>
7月 2日	梅田サテライト	13	16	11	5	6	10
7月16日	梅田サテライト	18	17	12	5	3	14
7月18日	大手前2年(大学)	20	20	15	5	0	20
7月23日	オープンキャンパス	181	148	106	42	29	119 <sup>*1</sup>
7月30日	梅田サテライト	16	17	16	1	2	15
8月 3日	大阪高校	25	25	25	0	10	15
8月 4日	オープンキャンパス	110	104	78	26	17	87 <sup>*1</sup>
8月 5日	オープンキャンパス	72	73	46	27	16	57 <sup>*2</sup>
8月20日	オープンキャンパス	65	82	60	22	30	52 <sup>*1</sup>
8月24日	個別対応(本学)	2	2	1	1	0	2
9月10日	オープンキャンパス	65	62	45	17	7	55
10月 1日	グランフロント大阪	24	25	19	6	7	18
10月15日	推薦入試直前相談会	31	38	31	7	17	21 <sup>*1</sup>
10月29日	グランフロント大阪	10	15	12	3	7	8
12月19日	大手前2年(大学)	19	19	14	5	19	0
合計		1,014	978	684	294	206	772

※リピーター実人数158名  
 ※個別面談実人数うち昨年度参加者15名

## ◆年度別参加者数とリピーター状況

(単位:名)

	ガイダンス開催日程 (個別対応含む)	延人数			実人数(個別面談)					
		ガイダンス	個別面談	リピーター	1年	2年	3年	合計	リピーター	リピーター率
2014年度	18回	300	221	31	1	4	185	190	25	13.2%
2015年度	31回	777	710	153	2	17	538	557	113	20.3%
2016年度	24回	932	906	155	1	32	717	751	121	16.1%
2017年度	22回	1,014	978	206	4	37	731	772	158	20.5%

# MANABOSS(マナボス)登録・利用者数および利用状況

## ◆MANABOSS登録者(全体)

(単位:名)

	2014年度				2015年度				2016年度				2017年度			
	1年	2年	3年	高校 教員	1年	2年	3年	高校 教員	1年	2年	3年	高校 教員	1年	2年	3年	高校 教員
アサーティブプログラム受講者数	1	4	185	—	2	17	538	—	1	32	717	—	4	37	731	—
MANABOSS全登録者数	3	4	129	9	2	14	368	6	9	14	513	15	3	9	580	17
プログラム受講済の登録者数	1	2	112	—	1	10	347	—	1	11	467	—	0	5	484	—
プログラム受講者のうち、 MANABOSS登録者の割合	100.0%	50.0%	60.5%	—	50.0%	58.8%	64.5%	—	100.0%	34.4%	65.1%	—	0.0%	13.5%	66.2%	—

## ◆アサーティブ入試 志願者におけるMANABOSS利用者数

※ログイン履歴が1回以上の登録者を「利用者」としてカウント。 ※2017年度入試まで、前期日程はA日程、後期日程はB日程として実施。 ※2014年度(2015年度入試)はアサーティブ入試は1日程のみ実施。 (単位:名)

アサーティブ入試 前期日程	2014年度(2015年度入試)			2015年度(2016年度入試)			2016年度(2017年度入試)			2017年度(2018年度入試)		
	対象者数	利用者数	利用率	対象者数	利用者数	利用率	対象者数	利用者数	利用率	対象者数	利用者数	利用率
志願者	91	77	84.6%	203	191	94.1%	261	233	89.3%	270	261	96.7%
合格者	53	48	90.6%	89	87	97.8%	130	119	91.5%	137	127	92.7%

アサーティブ入試 後期日程	2015年度(2016年度入試)			2016年度(2017年度入試)			2017年度(2018年度入試)		
	対象者数	利用者数	利用率	対象者数	利用者数	利用率	対象者数	利用者数	利用率
志願者	87	79	90.8%	134	124	92.5%	113	110	97.3%
合格者	41	38	92.7%	60	57	95.0%	60	57	95.0%

## ◆アサーティブ入試 志願者のうち、MANABOSS(基礎学力問題)利用状況

※2017年度入試まで、前期日程はA日程、後期日程はB日程として実施。 ※2014年度(2015年度入試)はアサーティブ入試は1日程のみ実施。 ※搭載問題数…言語能力問題1505問、非言語能力問題1650問。合計3155問

アサーティブ入試 前期日程	2014年度(2015年度入試) ※2014年4月1日~10月19日のデータ							2015年度(2016年度入試) ※2015年4月1日~9月19日のデータ							2016年度(2017年度入試) ※2016年4月1日~9月23日のデータ							2017年度(2018年度入試) ※2017年4月1日~9月22日のデータ						
	対象者数	利用日数(日)			回答数			対象者数	利用日数(日)			回答数			対象者数	利用日数(日)			回答数			対象者数	利用日数(日)			回答数		
		平均	最高	最低	平均	最高	最低		平均	最高	最低	平均	最高	最低		平均	最高	最低	平均	最高	最低		平均	最高	最低			
合格者	53	12	57	0	459	989	0	89	15	71	1	934	5387	10	130	13	43	1	808	6247	0	137	17	76	1	1069	11815	16
不合格者	32	11	49	0	307	880	0	106	13	59	1	648	4339	4	129	12	49	1	455	3829	4	123	17	60	1	1055	8160	7

アサーティブ入試 後期日程	2015年度(2016年度入試) ※2015年4月1日~11月28日のデータ							2016年度(2017年度入試) ※2016年4月1日~11月25日のデータ							2017年度(2018年度入試) ※2017年4月1日~11月25日のデータ						
	対象者数	利用日数(日)			回答数			対象者数	利用日数(日)			回答数			対象者数	利用日数(日)			回答数		
		平均	最高	最低	平均	最高	最低		平均	最高	最低	平均	最高	最低		平均	最高	最低			
合格者	41	24	80	1	1126	3378	1	60	15	52	1	718	2701	5	60	15	81	1	650	2248	12
不合格者	40	16	67	1	1115	5034	22	69	14	69	1	789	6326	9	47	18	59	1	1036	5321	1

## アサーティブ入試A日程 不合格者のうち、B日程に再受験した者のMANABOSS利用状況

合格者	15	28	80	1	1318	3406	454	19	19	52	1	977	2572	8	14	24	81	5	871	2146	44
不合格者	11	27	67	1	1870	4917	60	18	18	69	1	1372	6326	91	19	28	59	8	1514	5321	55

## ◆アサーティブ入試後期日程2次試験終了後の継続利用者数

※アサーティブ入試前期日程・後期日程志願者数の合計を対象者数としている。ただし2014年度は後期日程は実施していないため1日程のみ。 ※基礎学力問題の回答数を集計している。  
※2017年度入試まで、前期日程はA日程、後期日程はB日程として実施。

2014年度(2015年度入試)						2015年度(2016年度入試)						2016年度(2017年度入試)						2017年度(2018年度入試)					
対象者数	利用者数	利用日数 平均	最高利用 日数	回答数 平均	最高 回答数	対象者数	利用者数	利用日数 平均	最高利用 日数	回答数 平均	最高 回答数	対象者数	利用者数	利用日数 平均	最高利用 日数	回答数 平均	最高 回答数	対象者数	利用者数	利用日数 平均	最高利用 日数	回答数 平均	最高 回答数
89	1	1.5	2	161	161	290	8	1.5	3	12.9	105	395	8	0.8	2	33.3	90	383	61	1.1	3	19.1	137



# MANABOSS(マナボス)問題数

## ◆言語能力問題

問題分野	2014年	2015年	2016年	2017年	合計
二語関係	66	31	2	27	126
同意語／同義語	45	23	33	29	130
反意語／反語	55	22	26	27	130
慣用句	63	16	19	24	122
ことわざ	3	16	53	32	104
語句の用法	45	22	36	19	122
熟語	49	21	24	26	120
言葉の意味	37	17	22	32	108
言葉の用法	50	28	20	22	120
敬語	40	21	33	22	116
文章整序	18	11	43	22	94
長文読解	34	15	21	20	90
漢字	0	77	8	38	123
<b>合計</b>	<b>505</b>	<b>320</b>	<b>340</b>	<b>340</b>	<b>1505</b>

## ◆非言語能力問題

問題分野	2014年	2015年	2016年	2017年	合計
推論	8	15	46	40	109
集合	9	32	30	40	111
表の読み取り	5	32	33	35	105
順列・組み合わせ	11	41	20	40	112
確率	8	42	24	40	114
代金の精算	3	40	27	35	105
料金の割引	5	40	36	35	116
分割払い	2	32	47	35	116
損益算	8	41	22	35	106
仕事算	13	33	26	36	108
速さ・時間・距離	13	51	13	34	111
グラフの領域	5	30	32	30	97
物の流れと比率	6	15	45	30	96
装置と回路	4	15	51	30	100
基礎数学	0	11	88	45	144
<b>合計</b>	<b>100</b>	<b>470</b>	<b>540</b>	<b>540</b>	<b>1650</b>

## ◆追手門学院バカロレア問題 ※全28問より抜粋

- あなたは今、この瞬間存在しますか。もし存在するとしたら、どのようにしてそれを証明しますか？
- 「古池や、かわず飛び込むみずの音」という有名な俳句があります。  
この句を絶賛して下さい。そして次にこの句を酷評して下さい。
- アメリカからインドに送られた農業用の機械が多数、部品と知識の欠如から、打ち捨てられています。  
この種の無駄を避け、インドの農民の機械利用を助ける方法を考えてください。(出典：オペレーションズリサーチの数学的方法)
- 「正義」とはなにか。
- 人はなぜ働かなければならないのでしょうか？
- 世の中やあなたの身の回りには無料の物やサービスが多くあります。  
出来るだけ多くの例を挙げて、それぞれが何故無料なのか説明してください。
- 雨の降っている日に歩いて濡れない方法をできるだけ多く挙げてください。
- 動物園の動物は幸せか。あなたの考えを自由に論じてください。
- 大学とは何をするとところか。
- オリンピックが4年に1回なのは少ないか。
- 「笑い」は人々の生活を豊かにしているか。

# アサーティブ入試日程・募集人員

アサーティブプログラム・アサーティブ入試の趣旨に、入試前から育成という視点がある。プログラム設計当初からアサーティブ入試で一度不合格となった受験生が、自分の弱点を克服して再度チャレンジできる仕組みを計画してきた。2015年度入試では初年度ということもあり全1日程での実施であったが、2016年度入試以降は全2日程で実施している。

入学募集人員については、初年度の2015年度入試では60名、2016年度入試では111名、2017年度入試では216名、2018年度入試では230名、2019年度入試では200名としている。

アサーティブプログラム受講者は年々増加しており、他入試での出願も増えている（P.12参照）。よって最終的には、全体入学人員の3分の1となる500名程度がアサーティブプログラムを経て入学することを目標とする。

## 〔2015年度入試〕

### ◆学部・学科別の募集人員

(単位:名)

学部	学科	募集人員
経済	経済	10
	経営	5
経営	マーケティング	5
	地域創造	10
社会	社会	10
心理	心理	10
国際教養	アジア	5
	英語コミュニケーション	5
合計		60

□ アサーティブ入試入学人員:60名

□ アサーティブ入試日程

出願期間:2014.8.20(水)~8.28(木)

試験日:(1次試験)2014.9.7(日) グループディスカッション

(2次試験)2014.10.19(日) 基礎学力適性検査、個別面接

合格発表:(1次試験)2014.9.11(木)

(2次試験)2014.10.24(金)

入学手続:2014.11.12(水)〆切

## 〔2016年度入試〕

### ◆学部・学科別の募集人員

(単位:名)

学部	学科	募集人員
経済	経済	15
	経営	15
経営	マーケティング	15
	地域創造	11
社会	社会	22
心理	心理	15
国際教養	アジア	8
	英語コミュニケーション*	10
合計		111

\*国際教養学部英語コミュニケーション学科は、2016年4月より国際教養学部国際教養学科に名称変更。

□ アサーティブ入学人員:111名

□ アサーティブ入試A日程

出願期間:2015.8.20(木)~8.28(金)

試験日:(1次試験)2015.9.5(土)グループディスカッション

(2次試験)2015.9.19(土) 基礎学力適性検査、個別面接

合格発表:(1次試験)2015.9.10(木)

(2次試験)2015.9.25(金)

入学手続:2015.10.23(金)〆切

□ アサーティブ入試B日程

出願期間:2015.10.28(水)~11.6(金)

試験日:(1次試験)2015.11.14(土)グループディスカッション

(2次試験)2015.11.28(土) 基礎学力適性検査、個別面接

合格発表:(1次試験)2015.11.20(金)

(2次試験)2015.12.4(金)

入学手続:2015.12.21(月)〆切

## 〔2017年度入試〕

### ◆学部・学科別の募集人員

(単位:名)

学部	学科	募集人員
経済	経済	48
	経営	29
経営	マーケティング	29
	地域創造	20
社会	社会	30
心理	心理	29
国際教養	アジア*	14
	国際教養	17
合計		216

\*国際教養学部アジア学科は、2017年4月より国際教養学部国際日本学科に名称変更。

□ アサーティブ入学人員:216名

□ アサーティブ入試A日程

出願期間:2016.8.19(金)~8.29(月)

試験日:(1次試験)2016.9.10(土)グループディスカッション、基礎学力適性検査

(2次試験)2016.9.24(土) 個別面接

合格発表:(1次試験)2016.9.13(火)

(2次試験)2016.9.30(金)

入学手続:2016.10.28(金)〆切

□ アサーティブ入試B日程

出願期間:2016.10.26(水)~11.2(水)

試験日:(1次試験)2016.11.13(日)グループディスカッション、基礎学力適性検査

(2次試験)2016.11.26(土) 個別面接

合格発表:(1次試験)2016.11.18(金)

(2次試験)2016.12.2(金)

入学手続:2016.12.22(木)〆切

## 〔2018年度入試〕

### ◆学部・学科別の募集人員

(単位:名)

学部	学科	募集人員
経済	経済	48
	経営	29
経営	マーケティング	29
	地域創造	20
社会	社会	30
心理	心理	29
国際教養	国際教養	20 <sup>a</sup>
	国際日本	25 <sup>b</sup>
合計		230

□ アサーティブ入学人員:230名

□ アサーティブ入試前期日程

出願期間:2017.8.19(土)~8.28(月)

試験日:(1次試験)2017.9.9(土)グループディスカッション、基礎学力適性検査

(2次試験)2017.9.23(土) 個別面接

合格発表:(1次試験)2017.9.12(火)

(2次試験)2017.9.29(金)

入学手続:2017.10.20(金)〆切

□ アサーティブ入試後期日程

出願期間:2017.10.23(月)~10.31(火)

試験日:(1次試験)2017.11.16(木)グループディスカッション、基礎学力適性検査

(2次試験)2017.11.26(日) 個別面接

合格発表:(1次試験)2017.11.20(月)

(2次試験)2017.12.1(金)

入学手続:2017.12.20(水)〆切

(2019年度入試)

◆学部・学科および専攻別の募集人員

(単位:名)

学部	学科・専攻	募集人員
経済	経済	39
経営	経営 経営・マーケティング専攻	27
	経営 法務専攻	11
	経営 ビジネス心理専攻	10
	経営 情報システム専攻	7
地域創造	地域創造	16
社会	社会	27
心理	心理	27
国際教養	国際教養	16
	国際日本	20
合計		200

□ アサーティブ入学人員：200名

□ アサーティブ入試前期日程

出願期間：2018.8.20(月)～8.27(月)

試験日：(1次試験)2018.9.8(土) グループディスカッション、基礎学力適性検査  
(2次試験)2018.9.22(土) 個別面接

合格発表：(1次試験)2018.9.12(水)

(2次試験)2018.9.28(金)

入学手続：2018.10.18(木) 〆切

□ アサーティブ入試後期日程

出願期間：2018.10.23(火)～10.30(火)

試験日：(1次試験)2018.11.20(火) グループディスカッション、基礎学力適性検査  
(2次試験)2018.12.1(土) 個別面接

合格発表：(1次試験)2018.11.22(木)

(2次試験)2018.12.7(金)

入学手続：2018.12.25(火) 〆切

## アサーティブプログラム・アサーティブ入試について

### 出身校都道府県別 人数一覧

(単位:名)

都道府県	2015年度			2016年度			2017年度			2018年度		
	プログラム 1年生～3年生	アサーティブ入試		プログラム 1年生～3年生	アサーティブ入試		プログラム 1年生～3年生	アサーティブ入試		プログラム 1年生～3年生	アサーティブ入試	
		志願者 3年生のみ	合格者 3年生のみ		志願者(A,B日程) 3年生のみ	合格者(A,B日程) 3年生のみ		志願者(A,B日程) 3年生のみ	合格者(A,B日程) 3年生のみ		志願者(前,後期日程) 3年生のみ	合格者(前,後期日程) 3年生のみ
北海道	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
青森県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
千葉県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0
東京都	0	0	0	3	2	2	0	0	0	0	0	0
長野県	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
石川県	2	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0
福井県	2	0	0	1	1	0	2	1	1	2	1	1
岐阜県	0	0	0	1	0	0	2	2	2	1	1	1
静岡県	1	1	0	2	1	1	3	3	2	3	1	0
愛知県	1	0	0	2	1	0	2	1	1	2	2	1
三重県	2	2	1	9	4	2	4	1	1	3	2	2
滋賀県	12	3	1	26	19	9	26	16	8	35	12	8
京都府	18	8	6	36	22	12	57	26	13	38	21	12
大阪府	98	51	29	325	142	65	481	222	129	517	229	128
兵庫県	28	12	8	84	35	23	88	50	21	88	39	19
奈良県	3	1	1	10	3	1	9	4	1	9	5	2
和歌山県	1	0	0	6	2	0	9	3	1	8	5	3
鳥取県	1	1	0	3	2	1	1	0	0	1	0	0
島根県	0	0	0	3	1	1	0	0	0	1	0	0
岡山県	1	1	1	5	4	2	7	3	1	2	2	0
広島県	4	2	2	6	5	4	1	0	0	0	0	0
山口県	0	0	0	2	2	1	0	0	0	1	1	1
徳島県	0	0	0	0	0	0	2	2	1	0	0	0
香川県	2	2	1	2	1	1	3	1	1	7	5	4
愛媛県	0	0	0	2	0	0	2	1	1	6	1	1
高知県	1	1	1	1	1	0	4	0	0	0	0	0
福岡県	0	0	0	2	0	0	3	1	1	0	0	0
大分県	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
通信制	11	6	2	22	12	5	42	20	5	42	19	13
ハワイ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
在外教育施設	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
高卒認定	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
高校中退	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
合計(実人数)	190	91	53	557	262	130	751	358	190	772	349	197

# アサーティブ入試について

## 学部学科別 志願・合格・入学者数

(単位:名)

学部/学科	2015年度			2016年度						2017年度						2018年度								
				A日程			B日程			合計	A日程			B日程			合計	前期日程			後期日程			合計
	男	女	合計	男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女	計	
経済	0	0	0	27	0	27	6	0	6	33	31	2	33	23	2	25	58	23	1	24	11	0	11	35
経営	6	2	8	34	4	38	22	1	23	61	16	4	20	11	4	15	35	21	6	27	17	1	18	45
マーケティング	9	7	16	23	9	32	13	7	20	52	29	20	49	12	3	15	64	34	7	41	14	3	17	58
地域創造	10	1	11	14	5	19	7	1	8	27	11	2	13	6	1	7	20	20	4	24	6	0	6	30
社会	1	4	5	12	10	22	6	4	10	32	39	7	46	20	5	25	71	36	11	47	9	4	13	60
心理	24	21	45	20	27	47	3	12	15	62	38	33	71	20	14	34	105	35	33	68	24	6	30	98
国際教養*	1	3	4	5	6	11	4	0	4	15	10	5	15	5	3	8	23	14	13	27	4	3	7	34
国際日本*	1	1	2	2	5	7	1	0	1	8	2	12	14	1	4	5	19	9	3	12	7	4	11	23
合計	52	39	91	137	66	203	62	25	87	290	176	85	261	98	36	134	395	192	78	270	92	21	113	383

学部/学科	2015年度			2016年度						2017年度						2018年度								
				A日程			B日程			合計	A日程			B日程			合計	前期日程			後期日程			合計
	男	女	合計	男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女	計	
経済	0	0	0	25	0	25	5	0	5	30	22	0	22	15	2	17	39	17	1	18	7	0	7	25
経営	4	2	6	31	4	35	19	1	20	55	9	3	12	5	1	6	18	14	4	18	11	1	12	30
マーケティング	9	7	16	20	8	28	10	6	16	44	13	12	25	5	0	5	30	19	3	22	9	0	9	31
地域創造	10	1	11	13	4	17	5	1	6	23	8	1	9	5	1	6	15	17	2	19	5	0	5	24
社会	1	3	4	11	10	21	4	4	8	29	24	6	30	7	3	10	40	17	7	24	5	2	7	31
心理	19	19	38	20	26	46	2	11	13	59	14	14	28	6	8	14	42	18	18	36	9	3	12	48
国際教養*	1	2	3	3	6	9	3	0	3	12	6	3	9	5	2	7	16	5	8	13	3	3	6	19
国際日本*	1	1	2	2	5	7	1	0	1	8	2	7	9	1	3	4	13	8	3	11	7	4	11	22
合計	45	35	80	125	63	188	49	23	72	260	98	46	144	49	20	69	213	115	46	161	56	13	69	230

学部/学科	2015年度			2016年度						2017年度						2018年度								
				A日程			B日程			合計	A日程			B日程			合計	前期日程			後期日程			合計
	男	女	合計	男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女	計	
経済	0	0	0	12	0	12	2	0	2	14	19	0	19	14	2	16	35	13	1	14	7	0	7	21
経営	4	2	6	13	2	15	10	0	10	25	9	3	12	5	1	6	18	12	4	16	10	1	11	27
マーケティング	5	5	10	8	5	13	6	4	10	23	12	12	24	4	0	4	28	19	3	22	9	0	9	31
地域創造	9	1	10	4	3	7	5	0	5	12	7	1	8	3	0	3	11	14	2	16	4	0	4	20
社会	1	2	3	9	9	18	3	3	6	24	22	5	27	5	2	7	34	13	7	20	5	2	7	27
心理	9	10	19	6	8	14	0	5	5	19	10	13	23	6	8	14	37	9	17	26	7	2	9	35
国際教養*	1	2	3	1	4	5	2	0	2	7	5	3	8	5	1	6	14	5	8	13	2	3	5	18
国際日本*	1	1	2	1	4	5	1	0	1	6	2	7	9	1	3	4	13	7	3	10	4	4	8	18
合計	30	23	53	54	35	89	29	12	41	130	86	44	130	43	17	60	190	92	45	137	48	12	60	197
入学者	30	22	52	52	35	87	29	12	41	128	86	44	130	43	17	60	190	91	45	136	48	12	60	196

\*国際教養学科は、2015年度までは英語コミュニケーション学科。

\*国際日本学科は、2016年度まではアジア学科。

# アサーティブプログラム受講者 入試種別 志願・合格・入学者数

(単位:名)

入試種別	2015年度			2016年度			2017年度			2018年度		
	志願者数 ※複数出願あり	合格者数 ※複数合格あり	入学者	志願者数 ※複数出願あり	合格者数 ※複数合格あり	入学者	志願者数 ※複数出願あり	合格者数 ※複数合格あり	入学者	志願者数 ※複数出願あり	合格者数 ※複数合格あり	入学者
アサーティブ入試 前期日程	91	53	52	203	89	87	261	130	130	270	137	136
アサーティブ入試 後期日程	—	—	—	87	41	41	134	60	60	113	60	60
AO入試	32	17	17	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特別入試 前期日程 指定スポーツ・文化型	1	1	1	3	3	3	4	4	4	4	4	4
特別入試 後期日程 指定スポーツ・文化型	—	—	—	0	0	0	0	0	0	2	1	1
特別選抜入試	—	—	—	18	12	12	22	18	18	23	21	21
追手門ファミリー入試	—	—	—	4	2	2	3	3	3	0	0	0
提携推薦入試	—	—	—	47	47	47	41	41	41	46	46	46
内部推薦入試	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0
指定校推薦入試	12	12	12	48	48	48	61	61	61	74	74	74
公募制推薦入試 前期日程 2教科基礎力型	28	8	5	92	22	16	122	45	33	92	23	17
公募制推薦入試 前期日程 数学基礎力型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15	2	2
公募制推薦入試 前期日程 地歴公民基礎力型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	17	5	2
公募制推薦入試 前期日程 小論文型	12	5	5	31	8	6	21	9	1	16	8	7
公募制推薦入試 後期日程 2教科基礎力型	10	2	2	36	6	5	56	11	10	48	8	5
小論文入試 B日程	1	0	0	3	1	1	—	—	—	—	—	—
一般入試 前期日程 3教科型	11	5	5	38	7	5	59	5	4	20	0	0
一般入試 前期日程 2教科型	10	0	0	25	4	3	37	0	0	38	2	1
一般入試 S日程 後期	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一般入試 後期日程 2教科型	3	1	1	18	1	1	24	1	1	18	0	0
一般入試 最終日程 チャレンジ型	2	0	0	5	0	0	12	1	1	5	0	0
大学入試センター試験利用入試 前期日程	0	0	0	8	0	0	9	1	1	5	0	0
大学入試センター試験利用入試 後期日程	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0
大学入試センター試験利用入試 最終日程	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0	0
<b>合計</b>	<b>215</b>	<b>104</b>	<b>100</b>	<b>667</b>	<b>292</b>	<b>278</b>	<b>869</b>	<b>390</b>	<b>368</b>	<b>807</b>	<b>391</b>	<b>376</b>

2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
<b>■2015年度</b> 【アサーティブプログラム受講者数】 221名(延べ数) 190名(実人数) (うち3年:185名 2年:4名 1年:1名)	<b>■2016年度</b> 【アサーティブプログラム受講者数】 710名(延べ数) 557名(実人数) (うち3年:538名 2年:17名 1年:2名)	<b>■2017年度</b> 【アサーティブプログラム受講者数】 906名(延べ数) 751名(実人数) (うち3年:717名 2年:32名 1年:1名) ※高校中退1名	<b>■2018年度</b> 【アサーティブプログラム受講者数】 978名(延べ数) 772名(実人数) (うち3年:731名 2年:37名 1年:4名) ※高校中退0名
<b>【全入試出願者数】</b> 受験対象者 185名(実人数) 出願者数 139名(実人数) 合格者数 103名(実人数) 入学者数 100名(実人数) (全入学者数 1,725名(実人数))	<b>【全入試出願者数】</b> 受験対象者 538名(実人数) 出願者数 409名(実人数) 合格者数 287名(実人数) 入学者数 278名(実人数) (全入学者数 1,594名(実人数))	<b>【全入試出願者数】</b> 受験対象者 717名(実人数) 出願者数 534名(実人数) 合格者数 378名(実人数) 入学者数 368名(実人数) (全入学者数 1,873名(実人数))	<b>【全入試出願者数】</b> 受験対象者 731名(実人数) 出願者数 538名(実人数) 合格者数 383名(実人数) 入学者数 376名(実人数) (全入学者数 1,857名(実人数))
個別面談からの出願率 75.1% 出願からの合格率 74.1% 合格からの入学率 97% 併願入試の歩留まり率 85.7%	個別面談からの出願率 76% 出願からの合格率 70.2% 合格からの入学率 96.9% 併願入試の歩留まり率 75.5%	個別面談からの出願率 74.5% 出願からの合格率 70.8% 合格からの入学率 97.4% 併願入試の歩留まり率 69.9%	個別面談からの出願率 73.6% 出願からの合格率 71.0% 合格からの入学率 98.2% 併願入試の歩留まり率 70.8%
アサーティブプログラム入学者 5.8% アサーティブ入試入学者 3%	アサーティブプログラム入学者 17.4% アサーティブ入試入学者 8%	アサーティブプログラム入学者 19.6% アサーティブ入試入学者 10.1%	アサーティブプログラム入学者 20.2% アサーティブ入試入学者 10.6%
アサーティブ入試 入学者数:52名 (1名辞退※経済的理由)	アサーティブ入試 入学者数:128名 (2名入学辞退※経済的理由、他大学へ進学)  アサーティブ入試A日程不合格からの アサーティブ入試B日程出願:28名 (合格:15名)	アサーティブ入試 入学者数:190名  アサーティブ入試A日程不合格からの アサーティブ入試B日程出願:37名 (合格:19名)	アサーティブ入試 入学者数:196名 (1名辞退※一身上の都合)  アサーティブ入試前期日程不合格からの アサーティブ入試後期日程出願:34名 (合格:14名)

# 入学前学習

- 1. 時期** 2017年12月7日(木) 発送  
2018年 2月5日(月) 提出締め切り

- 2. 課題**
- ① あなたの生まれた日の新聞を読んでください。  
※<お誕生日>という大切な日に発行された読売新聞紙面で作製した「記念日の新聞」のコピーを合格者に提供。
  - ② 毎年年末になると報道関係から発表される「10大ニュース」を調べてみましょう。  
※生まれた年から高校2年生までの17年分です。
  - ③ 毎年の10大ニュースから、自分の興味を持ったニュースをそれぞれ3つ選びます。ワークシート「私の選んだ毎年のニュース」に、生まれた年から記入をします。
  - ④ 今まであなたが成長してきた過程と、毎年のニュースを対比してください。そこから考えたことを踏まえ、これからの大学生活や将来に向けての思いを800字以内でまとめてください。

- 3. 目的** 合格者に大学入学までの高校生活の充実と、  
大学で学ぶことを考え続けることができる課題を用意する。  
人の行動や考えは、社会の動きから様々な影響を受けていることを実感してもらうために、  
毎年末に新聞等で発表される10大ニュースを生まれてから入学までの毎年分を調べ、  
社会の動向と自分の人生と照らし合わせ、  
改めて大学進学の意味や学ぶ学科での学び方を意識化することを目的とする。

## 学生コメント

- 普段あまりニュースを見ないので、ニュースを見るきっかけになった。  
また、新聞やニュースを見る習慣も身に付いた。
- 毎年たくさんの事件や出来事が起こっていることを知り、新しい気付きも多かった。  
ので、その気付きを元に大学入学後の勉強にも繋げていきたいと思った。
- 海外ではテロなど悲惨な事件が多いという新たな発見ができた。  
量が多く大変だったが、新しい発見があったので楽しく取り組めた。
- 生まれて間もない頃のニュースは知らないことが多かった。  
ので、親に質問することが多く、親と会話するきっかけにもなった。
- 自分で1つずつ調べていくスタイルの課題だったので、  
とてもやりがいがあり、大学での学びを先取りしていると実感できた。



# 個別面談職員・研修日程

## ◆アサーティブ面談職員数

2014年度:32名

2015年度:新たに22名 合計54名

2016年度:新たに10名 合計62名

2017年度:新たに 4名 合計60名

2018年度:新たに10名 合計66名

(※退職者等は除いている)

(単位:名)

部署名	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
副学長	1	1	1	1	1
内部監査室	1	2	2	1	1
理事長室 学長室	1	1	7	6	5
経営戦略課		2			
総務課	3	3	5	4	4
人事課	2	3	3	4	4
財務課	1	2	2	2	2
学事課	1	4			
広報課		1	2	2	2
評価推進課					
学部設置課		1			
一貫連携教育部			2		
教務課	8	8	9	6	7
教育支援課	2	2			
教育企画課			1	1	2
学生課	1	3	4	6	7
教職支援センター				1	1
課外活動推進課	2				
就職・キャリア支援課	1	2	4	4	4
国際交流教育センター	1	2	3	2	3
情報メディア課		3	2	2	4
株式会社オーティーエム	1	2	1		
入試課	6	9	8	7	7
アサーティブ課			3	5	5
中・高等学校				2	2
大手前中・高等学校		1	1	1	1
初等中等室		1	1	1	2
小学校					1
校友課					1
<b>合計</b>	<b>32</b>	<b>53</b>	<b>61</b>	<b>58</b>	<b>66</b>

※所属は各年度初め時点とする。 ※人数は各年度末時点とする。ただし、2018年度は4月24日時点の人数とする。

## ◆研修日程

### 2014年度

- ①2014年3月28日
- ②2014年4月22日
- ③2015年2月25日
- ④2015年3月24日

※③、④は同内容

### 2015年度

- ①2015年12月8日
- ②2015年12月9日
- ③2015年12月11日

※①、②、③は同内容

### 2016年度

- ①2016年12月6日
- ②2016年12月7日
- ③2016年12月8日

※①、②、③は同内容

### 2017年度

- ①2018年1月16日
- ②2018年1月17日

※①、②は同内容

# 研修内容・事例紹介

2017年度アサーティブ面談職員研修会を、以下のとおり開催した。

## ◆目的

過去に面談職員が面談した高校生が、本学に入学後、どのように大学生活を送っているかについて、インタビュー結果を元で知ることによって面談職員のモチベーション向上につなげるとともに、「これからの面談職員の課題」をテーマに討論することにより、アサーティブの取り組みの改善につなげることが目的である。

## ◆開催日時

2018年1月16日(火) 13:00~14:30

2018年1月17日(水) 13:00~14:30

※同一内容を2日間開催。

## ◆場所

追手門学院大学

1号館3階

会議室3A・B

## ◆参加状況

1月16日(火)…18名

1月17日(水)…19名

合計37名(参加率:61%)

## ◆内容

### 1. 2017年度アサーティブ入試 入学者インタビュー結果の報告

2017年度アサーティブ入試による入学者を対象に実施したインタビュー結果について、報告を行った。インタビュー項目は、授業に関することや課外活動に関することやアサーティブプログラムに関することなど多岐に渡るが、特に「個別面談時の感想」については、「個別面談を受けて進路に対する考えが変わった」や「個別面談が大学生活に向け励みになった」、「個別面談を何度も受講した」といった意見が多く見られたことについて特に詳しく報告を行った。

### 2. 学生による発表

アサーティブ入試により入学した在学生4名が、「個別面談を受講した時」を振り返り、発表。「夢を考え直すきっかけをくれた」「夢が見つからない自分にアドバイスをくれた」「親身になってくれて良かった」といった内容であった。発表した学生は、1日目が3年女子1名と1年女子1名。2日目が1年男子1名と1年女子1名であった。

### 3. グループディスカッション

「これからのアサーティブ面談職員の課題」をテーマに、グループに分かれディスカッションを行った。なお、この前に発表してくれた学生4名は、順番に各グループを回り、ディスカッションに参加してくれた。グループごとの発表では、「安易な入試制度と思われなければならない」「他の面談職員とのレベルの差を感じる。その差をどう埋めるか」「1回きりの参加が多い。面談回数を増やす仕掛けが必要」といった意見が出された。

### 4. 個人ワーク

滋賀県立八幡高等学校にて実施した「キャリア教育講演会」で生徒が実際に記入した感想シートのコピーに、面談職員一人ひとりコメントを記入してもらった。シートは記入後回収し、アサーティブ課にて保管し、次年度に向け、まとめとして共有する予定である。また、アサーティブ研究センターとベネッセ教育総合研究所との共同研究の中で開発を進めている「面談シート(仮称)」について、実際の個別面談の場で用いるとした場合の改良点等について、意見をまとめていることが説明された。

### 5. アンケート記入

面談職員に関するアンケート用紙を配布し、記入後回収した。  
アンケートへの記入内容については、別途資料にてまとめている。

## <研修会のまとめ>

グループディスカッションでは、面談職員一人ひとりがこれまでの個別面談を振り返りながら、多くの課題提議がなされたため、非常に有意義なものとなった。学生による発表は、初めての試みであったが、多くの職員の前でも臆せず話ができたことは大変良かった。インタビュー結果報告の「個別面談時の感想」からつなげ、個別面談を受けた時の感想を話してもらった。学生自身によるリアルな話であったため、面談職員の心に響いたのではないかとと思う。

グループディスカッションで提議された課題や、アンケート記入の内容等をまとめ、改善につなげていきたい。

# 報道関係・講演依頼・来訪調査

## 1.新聞

掲載日	新聞名	ページ	タイトル
2017年6月15日	大学入試ジャーナル	14頁	「独自の『育成型』入試」
2017年8月13日	中日新聞	13頁	「大学入試改革 多様な試み」
2017年10月31日	毎日新聞 東京朝刊	13頁	「学生伸ばすAO入試 職員の意識改革も実現」
2017年12月13日	朝日新聞	34頁	「育成型入試 進め方は？」
2017年12月22日	琉球新報 朝刊	14頁	「進路を考える契機に 追手門大 江崎さん 県内高校で講演会」

## 2.雑誌

掲載日	雑誌名	発行元	タイトル
2017年7月8日	週刊ダイヤモンド	ダイヤモンド社	「大学序列崩し“サバイバル”」
2017年11月1日	カレッジマネジメント	リクルート	「ガバナンス改革とアサーティブプログラム・アサーティブ入試による高大接続改革」
2017年12月14日	進路指導白書	NPO法人NEWVERY	「アサーティブプログラムの取り組み」
2018年3月1日	私学経営	私学経営研究会	「志願者確保と入試改革の視点と実践例」

## 3.講演依頼(高校)

実施日	所在地	高等学校名	対象人数	講演者	タイトル
2017年5月18日	沖縄県	糸満高等学校	全校生徒約1,000名	志村知美	自分のモノサシを持つ
2017年5月19日	沖縄県	知念高等学校	2年生2クラス約40名	志村知美	自分のモノサシを持つ
2017年6月13日	大阪府	門真なみはや高等学校	3年生10名	志村知美	進路を考える準備
2017年6月29日	大阪府	好文学園女子高等学校	2年生2クラス約50名	志村知美	自分のモノサシを持つ
2017年9月13日	大阪府	泉北高等学校	1、2年生希望者	学生スタッフ2名	座談会
2017年9月14日	滋賀県	八幡高等学校	1年生約320名	志村知美	自分のモノサシを持つ
2017年10月19日	大阪府	好文学園女子高等学校	2年生2クラス約50名	江崎誠	大学ってどんな所? どうやって探す?
2017年10月27日	兵庫県	第一学院高等学校養父校	1、2年生33名	江崎誠	大学ってどんな所? どうやって探す?
2017年12月9日	滋賀県	八幡高等学校	2年生希望者、PTA保護者約20名	福島一政	保護者講演会
2017年12月12日	高知県	高知中央高等学校	2年生約80名	江崎誠	自分のモノサシを持つ
2017年12月15日	沖縄県	沖縄工業高等学校	2年生8クラス約320名	江崎誠	自分のモノサシを持つ
2018年1月6日	沖縄県	具志川高等学校	1、2年生約40名	江崎誠	自分のモノサシを持つ
2018年1月7日	沖縄県	那覇西高等学校	1、2年生約40名	江崎誠	自分のモノサシを持つ
2018年1月17日	滋賀県	八幡商業高等学校	2年生60名	福島一政	大学での学びが変わる
2018年1月22日	沖縄県	豊見城南高等学校	1年生1クラス約30名	江崎誠	自分のモノサシを持つ
2018年1月26日	沖縄県	西原高等学校	2年生保護者約30名	江崎誠	保護者講演会
2018年2月23日	沖縄県	西原高等学校	1、2年生約560名	江崎誠	自分のモノサシを持つ
2018年2月23日	沖縄県	西原高等学校	1年生保護者約30名	江崎誠	保護者講演会
2018年3月19日	滋賀県	甲西高等学校	1年生約280名	江崎誠	自分のモノサシを持つ

## 3.講演依頼(大学・その他)

実施日	主催	講演会	講演者	タイトル
2017年4月26日	神戸山手大学	アサーティブプログラム・アサーティブ入試説明会	志村知美	アサーティブプログラムとアサーティブ入試
2017年5月31日	島根大学	「地域貢献人材育成入試面談会」に係る研修会	志村知美	「選抜型」入試から「育成型」入試への必要性 ～アサーティブプログラムとアサーティブ入試～
2017年8月26日	高等教育質保証学会	高等教育質保証学会 第7回大会	志村知美	アサーティブプログラムとアサーティブ入試
2017年9月8日	私学経営研究会	私学経営研究会 9月セミナー	福島一政	志願者確保と入試改革の視点と実践例
2017年9月15日	私学経営研究会	私学経営研究会 9月セミナー	福島一政	志願者確保と入試改革の視点と実践例
2017年11月10日	一般社団法人日本能率協会	第9回 大学マネジメント改革総合大会	志村知美	追手門学院大学の事例 ～アサーティブ入試における教職協働～
2017年12月7日	独立行政法人大学入試センター	平成29年度 入学選抜研究に関する 調査室研究会(第1回)事例紹介	志村知美	事例報告 アサーティブプログラムとアサーティブ入試
2018年2月10日	徳山大学	アクティブ・ラーニング(AL)勉強会	志村知美	答えは目の前の学生から ～アサーティブプログラム・アサーティブ入試～
2018年2月20日	京都光華女子大学	全APテーマ合同報告会	志村知美	事例報告 選抜型から育成型への入試改革 ～答えは目の前の学生から～
2018年2月23日	大阪大学	入試専門家養成 情報交換会	志村知美	追手門学院大学 アサーティブプログラム・アサーティブ入試

## 4.他大学より来訪調査

実施日	大学名	実施日	大学名
2017年5月22日	名城大学	2017年12月7日	京都光華女子大学
2017年10月1日	筑紫女学園大学 筑紫女学園中・高等学校	2018年3月22日	大正大学

# 入学者インタビュー調査

アサーティブ入試 入学者の追跡調査（中間報告）

6月15日現在

1. 調査対象者 アサーティブ入試 入学者196名

2. 時期 5月下旬～7月下旬

3. 内容 面談時間は、一人15分程度。質問内容は、以下内容を中心に行う。

- ・アサーティブプログラム・アサーティブ入試全体についての意見・感想（個別面談／MANABOSS／1次試験・2次試験／入学前学習など）
- ・大学入学後の過ごし方（出欠状況／履修状況／クラブ・サークルなどの参加／学内プログラムの参加など）
- ・大学入学後の気持ちの変化について

4. 目的 アサーティブプログラムで期待している

1. シラバスの活用
2. 講義への参加意欲の向上
3. 各種活動への積極的参加

ができる大学生になっているかを検証すること。

## インタビュー結果 ※学生主観による回答

### ◆インタビュー実施状況

(単位:名)

	アサーティブ入試 入学者	
インタビュー実施者	86 / 196	43.9%

### ◆インタビュー内容

(単位:名)

	アサーティブ入試 入学者		学生コメント
シラバスの活用	76 / 86	88.4%	・どんな授業があるか、学びたいものがあるか調べるのに利用した ・取りたい授業の評価方法を調べた ・評価方法の違いや各回の授業内容を調べた
授業への出席	82 / 86	95.3%	・1日も休まずに出席している ・授業時間が最初は長く感じたが、慣れてきた ・授業ごとに色々な人と関わって楽しい
予習・復習の有無	64 / 86	74.4%	・空き時間に図書館で行っている ・授業によって進め方が異なるので、予習を心掛けている ・授業内容が難しくなってきたら、予習・復習をするつもりである
各種活動への参加 (アルバイト・部活・サークル・学内スタッフ等)	82 / 86	95.3%	・アサーティブスタッフに参加している ・サークル入ったことで、思ったよりも交友関係が広がった ・学内のサークルだけでなく、他大学のサークルにも参加している
アサーティブノートの活用	40 / 86	46.5%	・個別面談の内容を記録するのに使用した ・ガイダンスなどの内容をメモに取り、入試前に振り返った ・中身は確認したが、活用はしなかった
アサーティブプログラムを受けてよかったこと (学生コメント)	・オープンキャンパスで、アサーティブスタッフ(先輩)と話したことで入試・大学生生活の準備ができた ・個別面談で気になることを聞けるだけ聞くことができ、とても助かった ・アサーティブスタッフ(先輩)との座談会に参加して、視野が広まった ・個別面談は将来のことを考えるきっかけになった ・シラバスの存在を事前に知ることができてよかった		



私は小学生の頃から「日本の文化を海外の人に伝えたい」という夢がありました。その夢を叶えるために高校では、英語を学ぶサークルや華道や茶道の部活に所属し、将来の夢を叶えるための勉強をしていました。高校1年生の時に学校からの宿題がきっかけで大学のオープンキャンパスに行くと、大学の雰囲気や学生の雰囲気などを知ることができ、他の大学のオープンキャンパスにも行くべきだと感じました。そこから20校以上の大学や専門学校のオープンキャンパスに行き、その1つが追手門学院大学でした。追手門学院大学の学生や先生とお話しをする中で、積極的な学生や大学のことが大好きな教授が多い印象を受け、大学の雰囲気が自分に合っていると感じました。その時から追手門学院大学にとっても良い印象を持ち、アサーティブプログラムにも参加しました。

個別面談では、自分の夢を伝え、その夢を叶えるために必要なことをこの大学で学ぶことができるかどうかについてお話ししました。アサーティブ入試に挑戦することを決めてからは、入試対策として「MANABOSS」を利用し、分からないところは塾の先生や知り合いの大学生に聞き、苦手な分野を克服していきました。2次試験の面接の練習は、塾の先生や友達のお父さんなどにもお願いし、協力してもらいました。

大学では、入学当初から積極的に同級生へ声をかけ、今では多くの友達ができました。大学卒業後に「起業したい」という夢もあるので、起業のために必要な知識を身につけたり、様々なアルバイトに挑戦して、多くのことを吸収できる4年間にしたいと考えています。



経営学部 経営学科 1年  
**牧野 梨緒**  
兵庫県立明石北高等学校 出身

私は高校3年生になってもなかなか進路について考えられませんでした。周りの友人が進路について真剣に考えている姿を見て焦り、高校3年生の8月頃、真剣に進路について考え始めました。親に勧められたことがきっかけで、地方公務員に少し興味を持ちました。「地方公務員になるために必要な勉強ができる」という事を軸に大学を探していた時、追手門学院大学の地域創造学部とアサーティブプログラムを見つけました。アサーティブプログラムがどのようなものなのかを詳しく知るためにアサーティブガイダンスへ参加しました。個別面談を受ける前までは、なんとなく地方公務員に興味を持っている程度だったのですが、個別面談で地方公務員になりたい理由を深掘りしていただいたおかげで、自分の中で地方公務員になることが明確な夢に変わりました。この個別面談を受けていなければ、なんとなくという理由で進路選択をしてしまっていたかもしれません。私は、人とコミュニケーションを取ることが好きだったので、グループディスカッションや面接など、コミュニケーションも評価基準に含まれているアサーティブ入試に魅力を感じ、受験することを決意しました。

アサーティブ入試の受験を決めてからは、グループディスカッションの対策として、1日1つ、テレビで流れているニュースに対しての自分の意見をアサーティブノートにまとめていました。入試本番のグループディスカッションでは、練習の成果もあり、自信を持って試験に臨むことができました。大学4年間は、地方公務員になるための勉強もしながら、さまざまな立場で物事を考えられるよう、色々な人の価値観を吸収できるような4年間にしたいと思います。



地域創造学部 地域創造学科 1年  
**大杉 拓実**  
清風高等学校（大阪府） 出身

私は高校3年生になっても、将来の夢が見つかっておらず、どのような進路を歩めば良いか悩んでいました。そんな時に、担任の先生から勧められたことがきっかけで追手門学院大学の「アサーティブプログラム」を知り、参加してみようと思いました。個別面談では、素直に「私は将来やりたいことが決まってないので、どのような進路を歩めば良いか分からない」ということを伝えました。職員さんはそんな悩みにも親身になって話を聞いてくれ、自分のやりたいことや興味のあることが見えてきました。その後、社会学部のアサーティブスタッフの方とお話をしていく中で、社会学部で学べる自分が自分自身のやりたいことだと考え、追手門学院大学の社会学部へ進学したいと思うようになりました。この時、アサーティブスタッフの方が親身になって話を聞いてくれたのがとても印象に残っています。

一次試験のグループディスカッションでは、元々自分から意見を言うのはあまり得意ではありませんでしたが、勇気を出して発言した結果、とても楽しむことができ、自分に少し自信ができました。基礎学力適性検査に向けては「MANABOSS」があったので、とても勉強がやりやすかったです。

大学生になってからは、自分もお世話になった「アサーティブスタッフ」に所属し、自分のような悩みを抱えた高校生に寄り添っていきたいです。



社会学部 社会学科 1年  
**西村 愛花**  
大阪府立北摂つばさ高等学校 出身

私は元々追手門学院大学に興味があり、進路を考え出した時に大学のホームページを見て「アサーティブプログラム・アサーティブ入試」の存在を知りました。初めてアサーティブガイダンスを聞いた時に、勉強面の成長だけでなく、人としての成長もできると思い、アサーティブプログラムに参加しました。個別面談では、「大学でやりたいこと」や「今何に興味を持っているか」などをお話ししました。自分の人間性も評価してもらえるアサーティブ入試に魅力を感じ、アサーティブ入試での受験を決めました。アサーティブ入試の受験を決めてからは、オープンキャンパスに参加して、グループディスカッション体験コーナーで何度もグループディスカッションの練習をしていました。また、座談会にも参加して、多くの大学生とお話しし、大学に入ってからのやりたいことをより明確にしていきました。基礎学力適性検査に向けては「MANABOSS」を利用し、勉強に励みました。

アサーティブ入試本番は、練習の成果がとても出ました。グループディスカッションでは自分の意見を言うだけでなく、相手の意見に対しても理解を深めるような質問ができました。2次面接でも、自分の伝えたいことは全部伝えることができました。

大学に入ってから、アサーティブスタッフ・ガンバ大阪インターンシップ・サークル活動・アルバイトなど数多くのコミュニティで活動しています。このように数多くのコミュニティへ積極的に参加することができたのは、高校時代にアサーティブプログラムで自分のやりたいことを明確にしていたからだと思います。



国際教養学部 国際日本学科 1年  
**長谷川 拓也**  
滋賀県立玉川高等学校 出身

# アサーティブイベント「はじめての大学」開催報告

## 1 開催目的

本学希望者に限らず大学進学を考えている高校生およびその保護者を対象に、大学での学び、大学の選び方、大学受験の実情について、分かり易く伝える大学選び入門編のイベントとする。

## 2 開催日時・場所

2017年5月28日(日) 10:30~15:30 追手門学院大学5号館 ※オープンキャンパスと同時開催

## 3 イベント実施内容

- ・ 大学選びのヒント講演会(NPO法人NEWVERY／アサーティブ研究センター客員研究員 倉部史記氏)
- ・ アサーティブガイダンス・個別面談
- ・ グループディスカッション体験
- ・ 先輩学生との座談会
- ・ MANABOSS体験

## 4 参加者数

- ・ 大学選びのヒント講演会:115名(内訳:高校生62名／中学生2名／保護者51名)  
(昨年度:高校生42名／保護者74名)
- ・ アサーティブガイダンス:202名(内訳:高校生136名／保護者66名)  
(昨年度:高校生35名／保護者43名)
- ・ 個別面談:110名(昨年度:30名)

## 5 大学選びのヒント講演会 来場者アンケート結果(自由記述抜粋)

### 高校生 (自由記述 抜粋)

- ・ 「大学」とはどのようなことを学ぶ場所なのかが分かりました。
- ・ 大学のその先のことを考えることが非常に重要だと学びました。
- ・ 進路の考え方が他の人と違ったことが不安でしたが、講演会を聴いてその不安が解消されました。
- ・ 4年間学び続けたい!と思える学部や大学を見つけることは本当に大事だと思いました。

### 保護者 (自由記述 抜粋)

- ・ 自分が高校生の頃に、この講演会を聴きたかった、と思える内容でした。
- ・ 大学選びについてよく分かりました。子どもにも伝えたいと思います。
- ・ 昔と今では時代が変わったので、親の考え方を子どもに押し付けてはいけないのだと学びました。
- ・ 今の社会環境、大学の選び方、大学に対する考え方のヒントとなり大変良かったです。

## 6 総括

今年度はオープンキャンパスと同時開催とすることにより、参加者数の増加に繋がれたとともに、昨年度に要望のあった「食堂体験」や「大学見学」等にも応えることができた。大学選びのヒント講演会は、高校生や保護者にとって非常に分かりやすい内容であり、とても好評であった。

アンケートの結果やこれまでの開催実績およびノウハウを活かし、次年度以降、高校生と保護者の双方を巻き込んだより良いイベントを検討していきたい。



# アサーティブスタッフの活動報告

## アサーティブスタッフとは

2016年度よりアサーティブプログラムを経て入学した学生が、高校生のために何かできないかと考え「アサーティブスタッフ」という組織を作った。主な活動内容は、学内での「アサーティブガイダンス・個別面談」開催時の、受付・誘導業務、高校生対応である。中には、自らアサーティブガイダンスを行いたいと手を挙げた学生もあり、大勢の高校生の前で実体験を踏まえた話をしている。また、「先輩学生と話そう!」というコーナーを設け、「アサーティブプログラム・アサーティブ入試」を経験した先輩学生と高校生が直接会話できる場所を作った。この座談会が非常に好評であり、毎回多数の高校生の来場がある。さらに、先輩学生がファシリテーターを務め、「グループディスカッション体験」ができるようにした。

アサーティブスタッフである彼らと接していると、勉強以外のこともたくさん学びたい、社会に出た時に役立つ力を身につけたいという意欲が伝わってくる。高校生の面談時からずっと見守っているため、成長を直に感じることができる。これも「アサーティブプログラム・アサーティブ入試」の取り組みにおける大きな成果である。

## アサーティブガイダンス



学生自身がスライドを作成し  
アサーティブガイダンスを実施



座談会とグループディスカッション体験コーナーを新設



## 将軍山祭

2017年度より学園祭である将軍山祭へ参加  
学生たちで話し合い、  
サーターアンダギーを販売  
この活動で学生同士の絆も深まった



# アサーティブスタッフの活動報告

福岡研修 平成30年3月11日(日)～13日(火)

## スケジュール

- 3月11日(日) 移動、OKSC 学生交流会に向けての確認
- 3月12日(月) 筑紫女学園大学、九州工業大学、  
西南女学院大学、追手門学院大学による合同研修
- 3月13日(火) 太宰府天満宮にてパンフレット用の写真撮影

## 研修内容



各団体の活動紹介



アサーティブスタッフの絆が深まった3日間



講座「接遇の意識と自己マネジメント」



実践「名刺交換」



チーム Work ～課題解決のための企画を創ろう!～



ポスターツアーにて発表



情報交換会にてゲーム



## 他大学の活動を知り、課題について話し合い、 今後の自大学の活動の改善につなげる

### 概要

合同研修は、お互いの活動を知るための活動紹介から始まった。私たちは高校生へ向けての活動であるが、他大学は主に在学生へ向けての活動をしている。例えば授業の準備、学習相談・イベント、在学生へのアンケート調査が主であった。

次に各大学混合の6人グループにわかれて、事前に各大学から出された課題をもとに話し合った。異なる活動をしているため、課題もそれぞれであったが、話し合っていくうちに共通課題として2つ挙がった。1つ目は、所属しているだけになっているスタッフもいるのもっと活動に参加してほしい、活動に参加してくれるスタッフの人数を増やしたいなどの「スタッフ人数の確保」であった。2つ目は、話し合える時間が少ない、先輩後輩に壁があるなど「スタッフ内のコミュニケーション不足」が挙げられた。そこで、この2つの課題を解決するにはどうすればいいか話し合った。話し合っていくと「活動のための部室がない」「あっても入りにくい雰囲気がある」「交流の機会が活動の時くらいしかない」という問題点が見つかった。筑紫女学園大学のLCスタッフには部屋があり、実際に見せてもらいながらどのような部屋があれば人が集まるか、コミュニケーションの場が作れるか考えていった。



そして、各グループが話し合った課題をポスターにし、ポスターツアー形式で発表した。他のグループは「引継ぎの問題」「単位取得後に学びが終わってしまう」「リーダーの役割が明確でない」「認知度を高めるにはどうすればいいか」を話し合っており、さまざまな意見や考え方を吸収することができた。

今回の研修を通して私たち2年生は、積極性が低いと感じた。研修へ向けての準備や活動紹介で、3年生に頼ることが多かったことが理由である。また、3年生から引き継いだとしても今まで通り同じように業務をこなせるのが大きな課題である。アサーティブスタッフは、3年生5人、2年生5人、1年生13人で活動している。1年生へスタッフになった理由を聞くと「楽しそうに活動していたから」「自分もしてもらったように高校生のサポートをしたい」などの声が聞けた。10年後、スタッフの人数が増えて大きな団体になれるように、また、目的を持って大学生生活を送る学生が多くなるように、高校生のサポートをしていきたい。そのためには個々が自分は何をすべきか考えて行動できるようにしていかなければならない。



心理学部 心理学科 3年  
月田 夏乃  
大阪府立吹田東高等学校 出身

### 提案

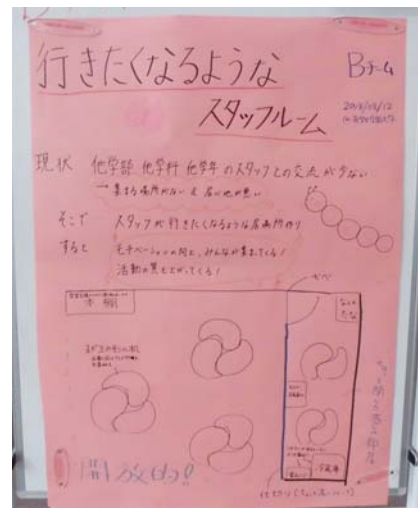
今回の福岡研修を活かすため、新1年生へ向けたイベントとスタッフのコミュニケーションの場を作る企画を提案する。

まず、5月頃行っていた新入生歓迎会を4月中旬頃に行う。日程を早めることで、新1年生同士の友達作り、スタッフへの勧誘がしやすくなると思った。また、新入生歓迎会を通して、アサーティブ入試のグループディスカッションで同じグループだった人との交流などができればいいと思う。

さらには、スタッフの同期の関係、先輩後輩の関係も準備を進めていく過程から仲を深めていけると考えた。2年生が少なく、1年生が多いため、なかなか密に関わり合うことができていないので、関わる機会が多くなることはスタッフが楽しく活動をしていくには必要なことである。まだアサーティブスタッフは発展途上のため、10年後をより良いものにするには、今から基礎をしっかりと築いていかなければならない。人数が増えていく中でどうコミュニケーションをとり、活動につなげていくかスタッフ同士で話し合う機会をつくるべきである。そのための一つの案として、アサーティブスタッフの部屋を作ることを提案したい。

また、オープンキャンパス終了後に活動内容を振り返るとともに、今日1番輝いていた人をスタッフが選ぶ表彰会がある。これを高校生に選んでもらうのはどうだろうかという案も出た。高校生と一番関わる座談会やグループディスカッションを担当しているスタッフが主に選ばれることになると考えられる。しかし、私たちの活動は「自分の意見を言う」「人の話を聞ける」「進路選択のサポートをする」ことであり、輝いていた人に同じスタッフが多く選ばれるのは、力になれた証にもなるだろう。さらに、他のスタッフもそれを見て「もっと良いと思ってもらえるように頑張ろう」とモチベーション向上にも繋がる。

最後に、これらの活動を通して高校生が入学後、アサーティブスタッフをやりたいと思うきっかけになることを期待する。



# アサーティブ課インターンシップ体験記

私は、追手門学院大学の学生である。2017年7月～9月の約二ヶ月間、追大実践型インターンシップ生として、追手門学院大学入試部アサーティブ課にインターン生として業務に携わった。追大実践型インターンシップは、ビジネス現場での本気のチャレンジを通じて成長したい人を対象に、追手門学院大学が独自に開発した中長期実践型プログラムである。

私自身インターンシップに参加したことがなく、取り組みたい気持ちはあったものの、どのようなインターンシップに参加するか迷っていた。しかし、やるならば短期で終了するものではなく、長期でじっくりと自分の成長を実感したいと考えていた。そんな時、アサーティブ課のインターンシップを知った。私自身がアサーティブ入試の1期生でもあり興味を持ったことと、教育と経営について同時に学べるのではないかと考えた。調べてみると、学内インターンシップとして今年度（2017年度）から始まると知り、是非1期生としてチャレンジしてみたいと思った。また、学内で所属している部活動の拘束時間が長いいため、同じ学内でインターンシップを経験できることも魅力であり参加を決めた。



心理学部 心理学科 4年  
**重村 菜穂子**  
大阪府立東百舌鳥高等学校 出身

インターンシップ生に与えられた達成目標は、以下の2つである。

- ①社会人としてのマナーを身に着けること
- ②アサーティブ課の取り組みを学内・学外で多くの人に知ってもらうこと

そして、これらを通して学んだことを報告書としてまとめることである。

振り返ってみると、アサーティブプログラム・アサーティブ入試を受けたことは、私にとって人生の大きな転機となった。

進路に迷っていた高校3年生の頃、追手門学院大学のオープンキャンパスに参加した。そこで、アサーティブプログラムを受けることにした。大学に進学しないという選択肢もあるなか、何のために大学に行くのか、学んだことをどう活かしたいのかなど、大学の人と1対1で話をした。大勢いるガイダンスや説明会ではなかなか質問をしにくいこともあるが、大学の人から自分だけのアドバイスをもらえたことはとても嬉しく、心に響いた。なんとなく大学へ進学するのではなく、しっかりと目標を立て、その目標に向かうための場所に進むため受験するのだと改めて思った。

アサーティブ入試ならではのグループディスカッションも記憶に残っている。従来の入試は、合格のため1点でも多くの点数を取ることが重要になり、受験生みんながライバルになってしまう。しかし、アサーティブ入試のグループディスカッションは違った。同じグループでディスカッションするメンバーは、全員が仲間でなければならない。協力し合わなければ試験を乗り切れないからである。出題されたテーマに対し、メンバーの話を聞かなかつたり、一言も発言しなかつたり、自己主張が強く意見を通したりするメンバーが1人でもいると、そのグループ全体の得点が下がると思った。きっとグループのみんなが同じように思ったのではないだろうか。そのようなメンバーがいても、一緒に合格するという気持ちがないとグループディスカッションは通過できないと思った。

私が受験した時は、会話になかなか入れないメンバーがいたので、話を振ったり意見を聞いたりして参加できるよう心掛けた。また、グループディスカッションの試験当日に声をかけた受験生がいた。名前も連絡先も聞くことはなかったが、お互い合格しており入学式で再会した時の感動は忘れられない。

アサーティブプログラム・アサーティブ入試を受け、大学生活では、新しいことを始めてみようと思うようになった。幼稚園の頃からスポーツをしていたので、大学ではスポーツをする選手を支える立場を学んでみたいと考えた。そして、選んだのはラクロス部のマネージャーである。ラクロスは格闘球技といい、フィジカルスポーツで怪我が多い種目である。テーピングや筋肉組織の勉強など、マネージャーをしていないと気づけなかったことがたくさんあった。

学外活動では、関西で有名な十日えびす祭でご奉仕する福娘に応募し、大阪天満宮でご奉仕させていただくことになった。

私は今しかできないことに、挑戦することの大切さをアサーティブプログラム・アサーティブ入試で学んだ。この入試で受験していなかったら、これらの挑戦はなかったかもしれない。もしかしたら、目的や目標を持たずに大学に進学していたかもしれない。

約2ヶ月間であったがアサーティブ課のインターンシップを通して多くの気づきがあった。

実習前に就職・キャリア支援課が実施している研修を受けた際、秘書検定の資格を取得していた私は、資格の勉強と変わらない研修だと感じた。しかし、実際インターンシップ生として勤務してみると、まったく通用しない。研修はあくまで研修であり、実践で活かせるようにすることは簡単ではないことが分かった。



業務内容は、アサーティブ課やアサーティブ課の取り組みについて調べることから始まり、オープンキャンパスやアサーティブガイダンスにも携わった。その中でも、特に印象に残っていることは、併設校の高校生のAP（アドバンスドプレイズメント）科目で使用する日報を作成する際、インターンシップ生の提案した内容が採用されたことである。この業務を通して、チームで協力して働き、それぞれの良さを生かして、形にできたことがとても嬉しくやりがいを感じた。将来は、何かを作り、商品やサービスを販売するような職に就きたいと強く思った。

このインターンシップで、迷っていた自分の将来について深く考えることができ、やりたい分野を見つけることができた。ここで経験したことを、今後の就職活動などで活かしていきたいと思う。

新しい入試を作ること、プログラムの準備や運営などにこれほどまでに多くの人に関わっているとは思わなかった。冊子1冊、ポスター1枚作るのにも、何度も修正を重ねて作成していた。個別面談などで高校生と実際に話すため、研修を行っていることも知った。

アサーティブ課の職員は常に多忙な印象だったが、それでも時間を割いてインターンシップ生を指導していただいたことに感謝している。



## 本補助事業の目的

事業全体の目的は、本学の基盤教育機構が進める「主体的に取り組む姿勢とチームとして行動する能力、個性と協働力の育成を図る」ための少人数教育に直接連動し、改革の成果を確実に加速させることである。本学の建学の理念であり教育「独立自彊・社会有為」に基づいた教育を実現するためには、主体的に学ぶ姿勢を育てる機能を有した新たなプログラムと入試制度を実現する必要がある。

新しい入試のコンセプトは、「選抜型入試」から「育成型入試」である。

大学進学率が過半数を超え、多様な受験生が増加していることを踏まえ、大学で学ぶ姿勢や意欲を育てるために、発達支援の考え方を取り入れた、大学教育への接続のための新しいプログラム開発である。この趣旨は、大学受験を希望する高校生に、大学で学ぶことへの期待を持たせ、主体的に学ぶ姿勢に変容させて、大学や学部などを決める際の選択肢を自分で選んで決断することの大切さに気づかせて受験に導くことである。本学の教育目的である「独立自彊・社会有為」の人材育成機能の強化を図ることが、本補助事業の目的である。



## 大学教育再生加速プログラム

## 平成30年度補助事業の目的

MANABOSSシステムの更なる改善と機能開発を継続し、CBTの試験導入に向けて取り組んでいくこととする。また、5年目を迎えるため、これまでの取り組みを振り返り、新しい高大接続を視野に入れたアサーティブプログラム・アサーティブ入試制度の向上を図ることである。

## 平成30年度補助事業実施計画

**計画** 広報媒体を作成し、現行地域を見直す。沖縄・離島エリアについては引き続き広報を行う。併せて高校訪問を実施する。

**内容** 重点地区を沖縄・離島エリアとし、プログラムの普及に繋がる募集活動を行う。また、広報媒体を活用し告知活動を行う。

**成果** アサーティブプログラム・アサーティブ入試の知名度向上とともに、関西エリア以外の入学者を増やすことにより多様な経験のきっかけを提供することができる。

### ◆志願・合格・入学状況(沖縄県)

(単位:名)

	2013年度			2014年度			2015年度			2016年度			2017年度			2018年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
志願者	1	0	1	1	8	9	4	0	4	6	4	10	12	2	14	7	23	30
合格者	1	0	1	1	5	6	2	0	2	0	1	1	2	0	2	2	6	8
入学者	1	0	1	1	4	5	2	0	2	0	1	1	1	0	1	0	3	3

※志願者数および合格者数は延べ数



- 計画** アサーティブプログラム・アサーティブ入試普及のための連携大学を開拓する。
- 内容** 入試改革に取り組む他大学との意見交換や訪問調査などを行い、本補助事業の普及を行う。
- 成果** 連携大学間でアサーティブガイダンスを行うことにより、お互いに幅広い地域からの受験生を確保することができる。
- 計画** アサーティブ入試募集要項を作成する。
- 内容** 入試募集要項は、アサーティブプログラム受講者に配布する。
- 成果** アサーティブプログラムの受講者を本学への出願に繋げ、入学者目標数を確保できるようにする。
- 計画** アサーティブガイダンス及び個別面談を開始する。アサーティブイベントを開催する。
- 内容** 新学年の高校生に向けたガイダンスを開催する。また、アサーティブイベントを実施することで早期に大学進学への動機付けを図る。
- 成果** 個別面談者数1,250人を目標とし、その確保ができるようにする。  
アサーティブイベントでは、300人の参加を見込み、本学への出願につなげていくことができる。
- 計画** 平成30年度入学の新生入生について、入学後の学生生活等についてヒヤリング調査を行う。
- 内容** 入学前と入学後の状況をヒヤリングすることで、入学後のフォロー体制を含めスムーズな接続体制を検討する。
- 成果** 入学後の実態を把握することにより、入学前の支援の在り方を検討することができる。
- 計画** MANABOSSシステムについて学習進捗管理機能のバージョンアップとコンテンツ開発を行う。  
また、CBTに関する調査・試験導入を検討する。
- 内容** MANABOSSシステムの構築とコンテンツ開発を行うことにより、より多くの高校生が利用できるようにする。  
また、学習成果を把握し反映できるような機能を充実させ、広く高校にも利用を促す。CBT機能を追加し、試験導入に向けて検討する。
- 成果** 入学前の学力担保を目指すとともに学習習慣を身につけた学生を確保することができる。
- 計画** アサーティブ入試実施と出願状況等のデータ分析を行い、来年度の方針を策定する。
- 内容** 出願状況や実施日などの分析を行い、アサーティブ入試の改善・修正を検討する。
- 成果** 受験生の動向分析の結果から課題事項を検討し、ガイダンスの内容や面談の運営を見直すことにより、より多くの高校生に受験の意識を変容させることができる。
- 計画** 入学前学習を実施する。
- 内容** アサーティブ入試合格者に対し、大学入学までの高校生活の充実と、大学での学びについて考え続けることができるよう課題を用意して、モチベーションの維持に努める。
- 成果** 合格後の過ごし方によって、入学予定者は大学への期待感を醸成し、大学生となる心の準備をすることにより学生生活の向上に結び付けることができる。
- 計画** 実施担当から年次報告を行い、外部評価委員会による評価を受ける。
- 内容** 平成29年度の外部評価委員に引き続き、アサーティブプログラムとアサーティブ入試についての評価を得る。  
また、次年度の事業実施に向けて、ガイダンスや入試日程の見直しを含め検討をする。
- 成果** 外部評価委員会で、アサーティブプログラムとアサーティブ入試について評価を得ることにより、より高校生に適切なプログラムを提供でき、高大接続を見直し、改善を図り、高校生により良い進路を考える機会の提供が可能となる。
- 計画** アサーティブガイダンス面談職員研修会を実施する。
- 内容** アサーティブプログラム個別面談職員の研修を行う。
- 成果** 面談職員が高校生・学生の実態を的確に把握し、教育改革への具体的な政策提起ができる力量と、ケースカンファレンスにより事例を蓄積することで個々の学生に対する教育支援ができる力を育成することができる。
- 計画** 全入試終了後に、アサーティブプログラムを受けた受験生の出願傾向を分析する。
- 内容** アサーティブプログラムを受けた生徒の本学受験の状況や傾向を分析することにより、他入試との関連性を踏まえ、アサーティブガイダンスとアサーティブ入試の日程及び回数を検討する。
- 成果** アサーティブプログラム受講者の動向を分析することにより、他入試との関係を見直すことができる。
- 計画** 併設校・提携校及び滋賀県教育委員会指定校に対してアサーティブプログラムへの誘導を行う。
- 内容** アサーティブプログラムを通じて、進路選択のきっかけを作る。
- 成果** 目的意識の高い受験生を安定的に確保することができる。

経済学部 経済学科  
経営学部 経営学科  
地域創造学部 地域創造学科  
社会学部 社会学科  
心理学部 心理学科  
国際教養学部 国際教養学科 / 国際日本学科

2018年7月発行

アサーティブプログラム・アサーティブ入試 補助事業報告書に関するお問い合わせ

追手門学院大学 アサーティブ課

TEL : 072-641-9623

- 住所 〒567-8502 大阪府茨木市西安威2-1-15
- 受付時間 平日(月～金)9:00～18:00
- e-mailアドレス [assertive@otemon.ac.jp](mailto:assertive@otemon.ac.jp)
- ホームページ <http://www.otemon.ac.jp>